

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書


- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【愛媛県・松山市】

学校名【松山市立勝山中学校】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒 647名 第1学年 222名 第2学年 199名 第3学年 226名 報道各社 13名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育科、総合的な学習の時間) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	○ オリンピック、パラリンピック大会の歴史や意義等について知る。 ○ 武田大作選手や香西宏昭選手の生き方を通して、現在の自分の在り方について具体的に考える。 ○ オリ・パラ教育を通して、スポーツの価値と多様な関わり方について考える。 ○ オリンピック、パラリンピックを身近にとらえることができる。
5 取組内容	(1) 保健体育科 ○ 「パラリンピック大会について知ろう」(第1学年) ○ 「パラリピアンについて考えてみよう」(第1学年) ○ 「シッティングバレーボールをやってみよう」 (第1, 2学年女子)



	<p>(2) 総合的な学習の時間</p> <p>○「武田大作選手から学ぶ」(全校生徒 647 名)</p> <p>(1) 講演「ボート競技のオリンピックとして」</p> <p>(2) 体幹を矯正する体験型指導</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>国際パラリンピック委員会公認教材“i m POSSIBLE”を用い、段階的に学習を進めた結果、ばらつきがあったオリンピック・パラリンピックに対する生徒の知識や関心を高めることができた。</p> <p>また、シッティングバレーボールをバレーボールの授業の導入やまとめとして扱うことで、スポーツの価値や可能性について体験することができた。</p> <p>パラリンピアン香西宏昭選手の映像と地元出身オリンピック武田大作選手の講演を見聞きすることで、いずれも強い意志と希望をもって取り組んできたことや覚悟、情熱など、こみ上げてくる熱い思いを体感できた。そのことにより、現在中学生の自分と両アスリートに共通点があることに気づき、これからのスポーツライフをより充実させようとしたり、競技者として自分自身を磨いていこうとしたりする気概ができた。また、体験学習を通して、スポーツは仲間と一緒にしたり、できたりすることの大切さや重要さ、喜びなどを体感させることができた。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○ 保健体育科年間指導計画を基にして段階的に指導できるよう工夫した。</p> <p>○ 身近にオリンピックが存在しているので、より身近にオリンピックを感じることができる。また、実際にオリンピックに講演してもらえたこと自体が素晴らしいことだと考える。</p>

8主な課題等	<p>○ オリンピック開催の年に近い場合は、現役のオリンピックやパラリンピアンに講師を依頼するのは難しいと思う。生徒たちはやはり、現役選手との触れ合いや交流の方が興味・関心があると思う。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>東京 2020 大会に向けて、生徒の知識や興味・関心は高まったが、実践力や行動力については未知数である。今後も機会を捉えて指導を継続し、大会開催までそれらを維持していく必要がある。</p> <p>パラリンピックスポーツを体験するにあたって、道具の都合でシッティングバレーボールに留まってしまったが、現在はパラスポーツの道具の貸し出しや提供していただく機関が増えているので、ぜひ、活用していきたい。</p>